

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 3 年 4 月 19 日

都道府県知事 殿

病院名 社会福祉法人^{恩賜}財団済生会支部東京都済生会

東京都済生会中央病院

開設者 社会福祉法人^{恩賜}財団済生会支部東京都済生会

支部長 南 靖武

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、**①**研修プログラムの変更、**2** 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①基幹型臨床研修病院 **2** 協力型臨床研修病院（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-1-から-5-まで及び別紙 1 については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号 1 から 25 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 26 から 35 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-2-

病院施設番号：030175 臨床研修病院の名称：社会福祉法人^{墨田区}済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：201名、非常勤（常勤換算）：17.67名 計（常勤換算）：218.67名、医療法による医師の標準員数：45.3名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2020年08月01日、告示番号：第1012号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 ③. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（333.58）m ² 0. 無操作
	救急医療の実績	前年度の件数：8,310件（うち診療時間外：5,294件） 1日平均件数：22.8件（うち診療時間外：14.5件） 救急車取扱件数：5,013件（うち診療時間外：4,274件）
	診療時間外の勤務体制	医師：9名、看護師及び准看護師：4名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
救急医療を提供している診療科	内科系 ①. 有 0. 無） 外科系 ①. 有 0. 無） 小児科（1. 有 ①. 無） その他（ ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：535床、2. 精神：__床、3. 感染症：__床 4. 結核：__床、5. 療養：__床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：12.4日、2. 精神：__日、3. 感染症：__日 4. 結核：__日、5. 療養：__日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：77件、異常分娩件数：31件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：9回、今年度見込：6回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記載
	剖検数	前年度実績：9件、今年度見込：15件
	剖検を行う場所	①. 有 当該医療機関の剖検室 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	①. 有（単身用：14戸、世帯用：0戸） 0. 無（住宅手当：__円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有（1室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（200.00）m ²
	医学図書数	国内図書：1,100冊、国外図書：320冊
	医学雑誌数	国内雑誌：25種類、国外雑誌：25種類
	図書室の利用可能時間	00：00～24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ ①. 有 0. 無）、 その他（Up To Date、Clinical key、Cochrane Library、医学中央雑誌Web版、 SpringerLink Hospital Edition、ProQuest Medical Library、医書jp、 KARGER Hospital Collection、Ovid MD、メディカルオンライン） 利用可能時間（00：00～24：00） 24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ①. 有 0. 無）、 その他（ ）	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書-3-

病院施設番号：030175

臨床研修病院の名称：社会福祉法人^{墨田区}済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ 大平 氏名 (姓) (名) 正典 役職 一般・消化器外科副医長、診療録管理室長		
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他 (具体的に :)		
	診療録の保存期間	(10) 年間保存		
	診療録の保存方法	①. 文書 ②. 電子媒体 その他 (具体的に :)		
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況	①. 有 (2 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。		
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (6) 名、兼任 (6) 名 主な活動内容：医療安全管理上の問題点の把握、対策立案。組織横断的立場で医療安全管理対策を推進する。		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ キツカ ケンジ 氏名 (姓) (名) 橋川 健二 役職 事務長 対応時間 (00 : 00 ~ 24 : 00) 24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：①. 有 0. 無		
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		①. 有 0. 無 指針の主な内容：基本理念以下、医療安全に係る体制を明文化したもの。
		医療に係る安全管理委員会の開催状況		年 (12) 回 活動の主な内容：医療事故の分析、対策の検討。医療安全管理の実践に関する検討。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年 (5) 回 研修の主な内容：医療安全のための職員研修会	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：医療安全管理委員会内に分析・検討のため、セーフティマネジャー委員会を設置。	
	20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了：11 名 中断：0 名		
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)		前々年度	前年度	当該年度
	1 年	11	12	12
	2 年	10	11	12
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数 (歯科の病床数を除く。) から算出	許可病床数 (535) 床 ÷ 10 = (53) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (10,437) 人 ÷ 100 = (104) 名		
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙 5 も提出すること。	○派遣実績 → 募集定員加算 0 名 0 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照) ○地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ ①. 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。			

